

中小企業小規模企業未来会議セミナー 実施報告

開催日時 令和4年8月23日(火) 午後2時00分～午後4時00分

開催場所 会津若松商工会議所 会議室

開催概要 『地場産業のアップデートとゼロから始めるDX』

1. 参加者数 18名

2. セミナー概要

①宮城大学 高山 様

- ・「機能的価値」（製品から受ける価値）と「意味的価値」（こだわり価値や自己表現価値）
 - ・「役に立つ」が評価されず、個人にとっての「意味」が重視される世代
- ⇒地域企業は「意味」を作るのが得意

- ・地域企業にも「熱狂」を生み出すチャンスはある
 - ・熱狂には「意味的価値」が含まれていることが重要
 - ・意味とは「外部貢献価値/自己表現価値/情緒価値」
 - ・熱狂はデジタルで発生、流通、維持される
- ⇒顧客単価が向上する、オンリーワンブランドへ

- ・社内コミュニケーションのデジタル化で、工数と自己削減
 - ・データ化による「限界売り上げの算出」で、投資の必要性顕在化
 - ・職人の技術価値を数値化し、人事評価へ反映
- ⇒データ化/デジタル化で、経営効率化を実現

②タヤマスタジオ(株) 田山 様

○南部鉄器のビジネスを始めた理由

- ・やりきった結果の斜陽ではなく、今までのビジネス構造が現代に合わない構造になってきた結果の斜陽

○初動からわかったビジネス環境の変化

- ・いかに売れる場所で、売れる方法で売るか

○南部鉄器をアップデート

- ・自分が「あったらいいな」と考えているような仕組みは、だいたい実現して普及している
- ・「めんどくさい」からという動機によるデジタル化

○デジタル化で見えてくるもの

- ・デジタル化、DX化は手段であり、目的化してはいけない

③宮城大学 青木 様

「DX分野等リスキープログラム」について説明を頂く。

3. セミナーの前後で、南部鉄器とケトルで沸かしたお湯の飲み比べ、VR 動画体験を実施。

4. アンケート結果 別紙のとおり

当日の様子

